

県内産業を支える人材の育成と若者の地元定着

1 県内新規高卒者就職状況(国・公・私・全・定) ※文部科学省調べ

年度	卒業生数 (人)	就職者数(人) ()内は割合(%)		
		全体	県内	県外
H20.3卒	減 17,254	5,124(29.7)	減 3,172(61.9)	減 1,952(38.1)
H23.3卒	16,642	4,155(25.0)	2,584(62.2)	1,571(37.8)
H26.3卒	15,976	3,980(24.9)	2,423(60.9)	1,557(39.1)
H29.3卒	15,628	3,967(25.4)	2,257(56.9)	増 1,710(43.1)

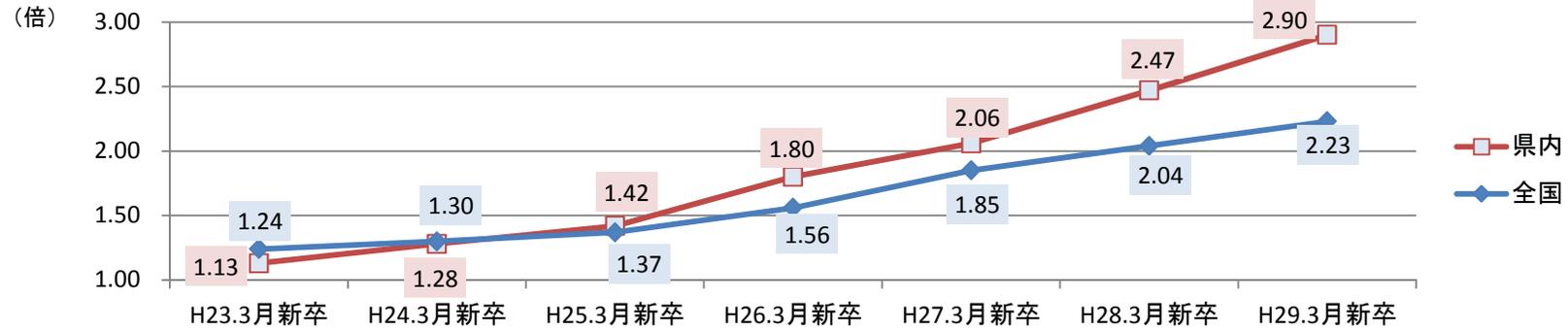
- ・高校生の県内就職率は低下(本県の県内就職率は全国で4番目に低い)
- ・全国の下位5県の中に、九州内の4県(鹿児島、宮崎、熊本、佐賀)が含まれる

4力年戦略KPI《70%》

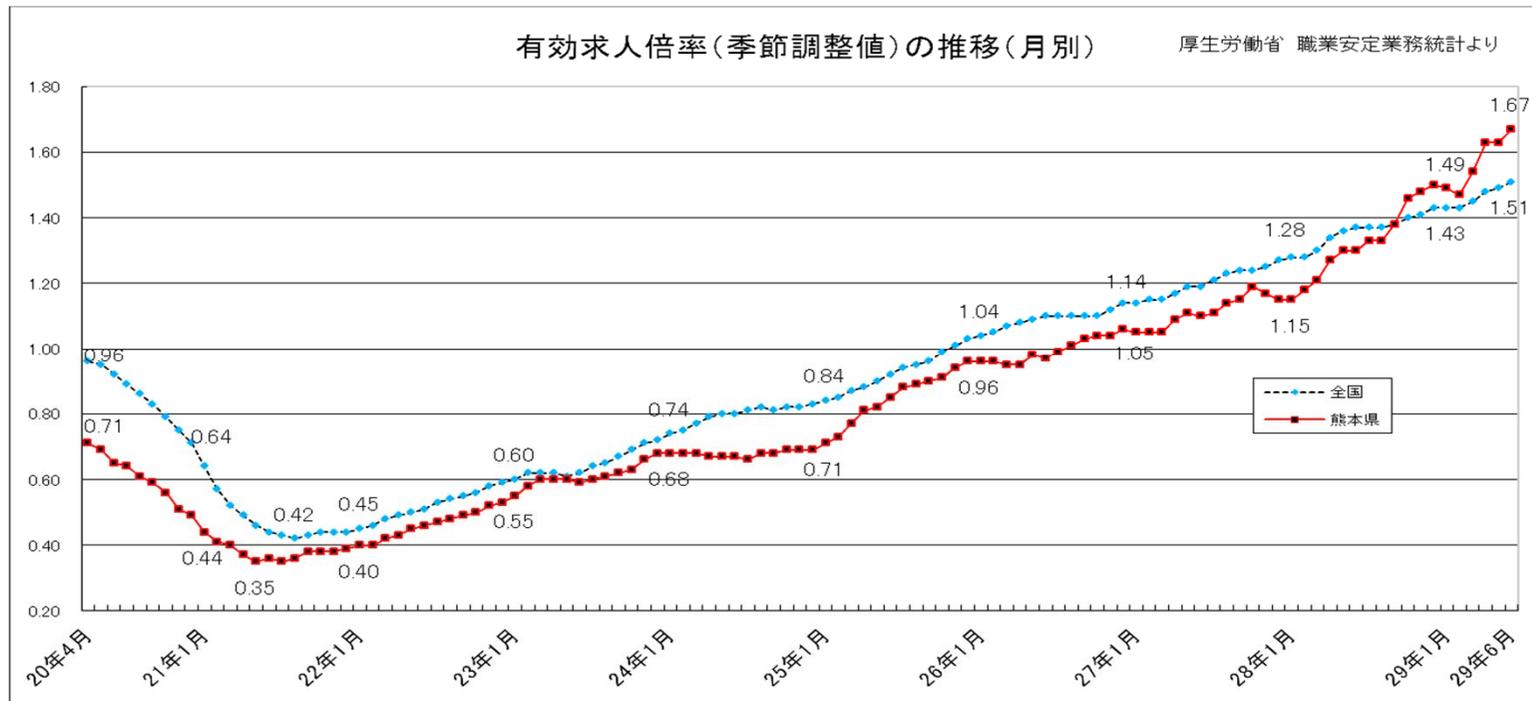
学 科		卒業生数 (H29.3卒)	就職者数(A) ()内は就職率		県内就職率(B/A)	
			県内(B)	県外		
普通	公立	5,911	505(8.5%)	357	69.2%	
	私立	4,145	420(10.1%)	266	63.3%	
	計	10,056	925(9.2%)	623	302	67.4%
農業	公立	969	542(55.9%)	362	180	66.8%
工業	公立	1,582	1,218(77.0%)	379	839	31.1%
	私立	445	243(54.6%)	133	110	54.7%
	計	2,027	1,461(72.1%)	512	949	35.0%
商業	公立	973	467(48.0%)	319	148	68.3%
	私立	318	130(40.9%)	104	26	80.0%
	計	1,291	597(46.2%)	423	174	70.9%
その他	公立	657	249(37.9%)	190	59	76.3%
	私立	628	193(30.7%)	147	46	76.2%
	計	1,285	442(34.4%)	337	105	76.2%
合計		15,628	3,967(25.4%)	2,257	1,710	56.9%

- ・県内就職率は、普通科・農業科・商業科は70%前後と高い一方で、工業科は低い H29.3卒:35.0%

2 新規高卒者の求人倍率及び有効求人倍率の推移 ※熊本労働局、厚生労働省調べ

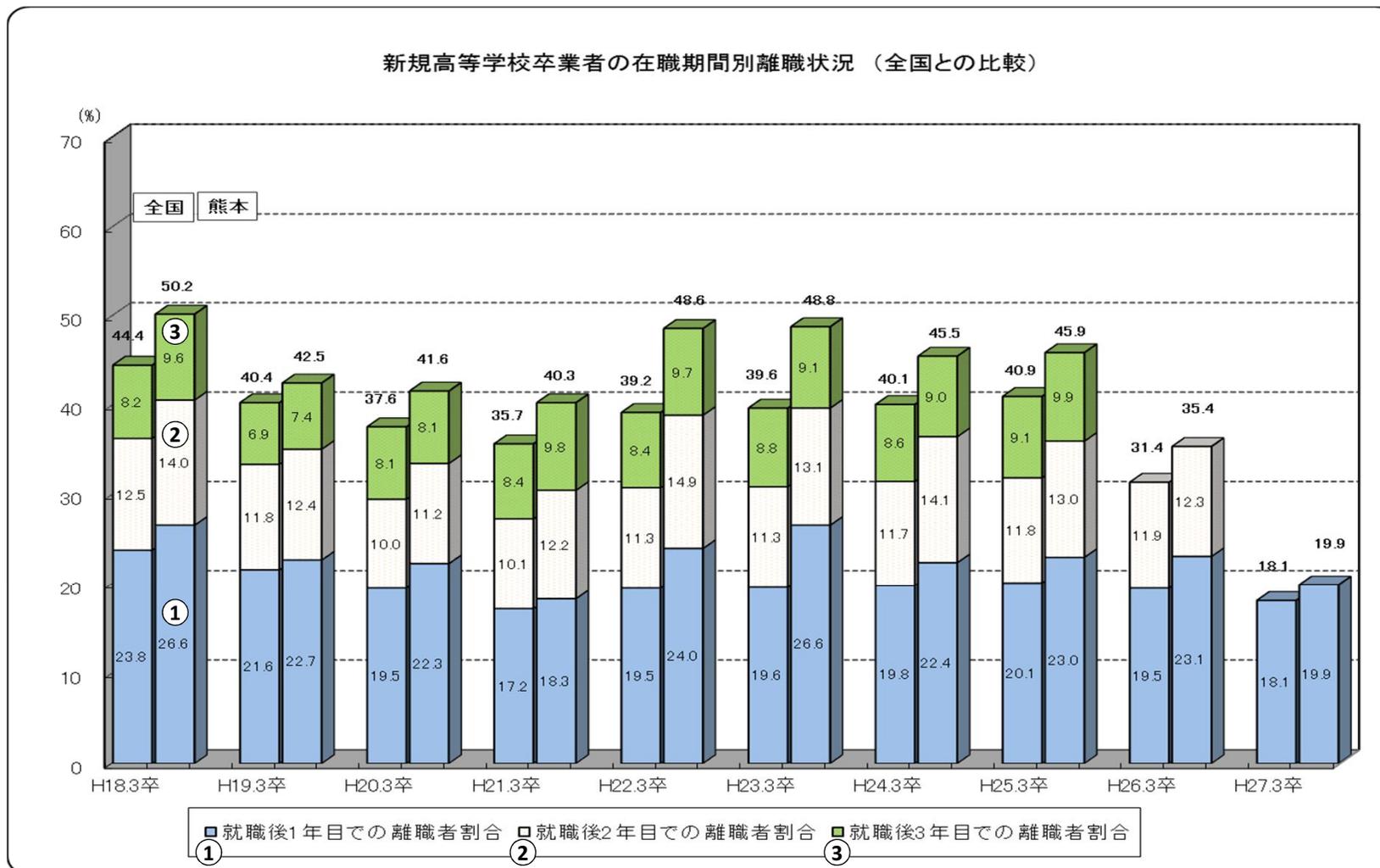


・新規高卒者の県内求人倍率は右肩上がりで推移。H25.3月新卒から全国を上回り、次第に全国との差が拡大



・県内有効求人倍率は、長らく1倍を下回ってきたが、平成26年度に1倍を超え、平成28年度には全国平均を初めて超過し、その差が拡大している

3 新規高校卒業者の3年以内離職率(県内・全国) ※厚生労働省調べ



・新規高校卒業者の3年以内離職率は、全国平均に比べ、県内企業への就職者の方が高い傾向にある。

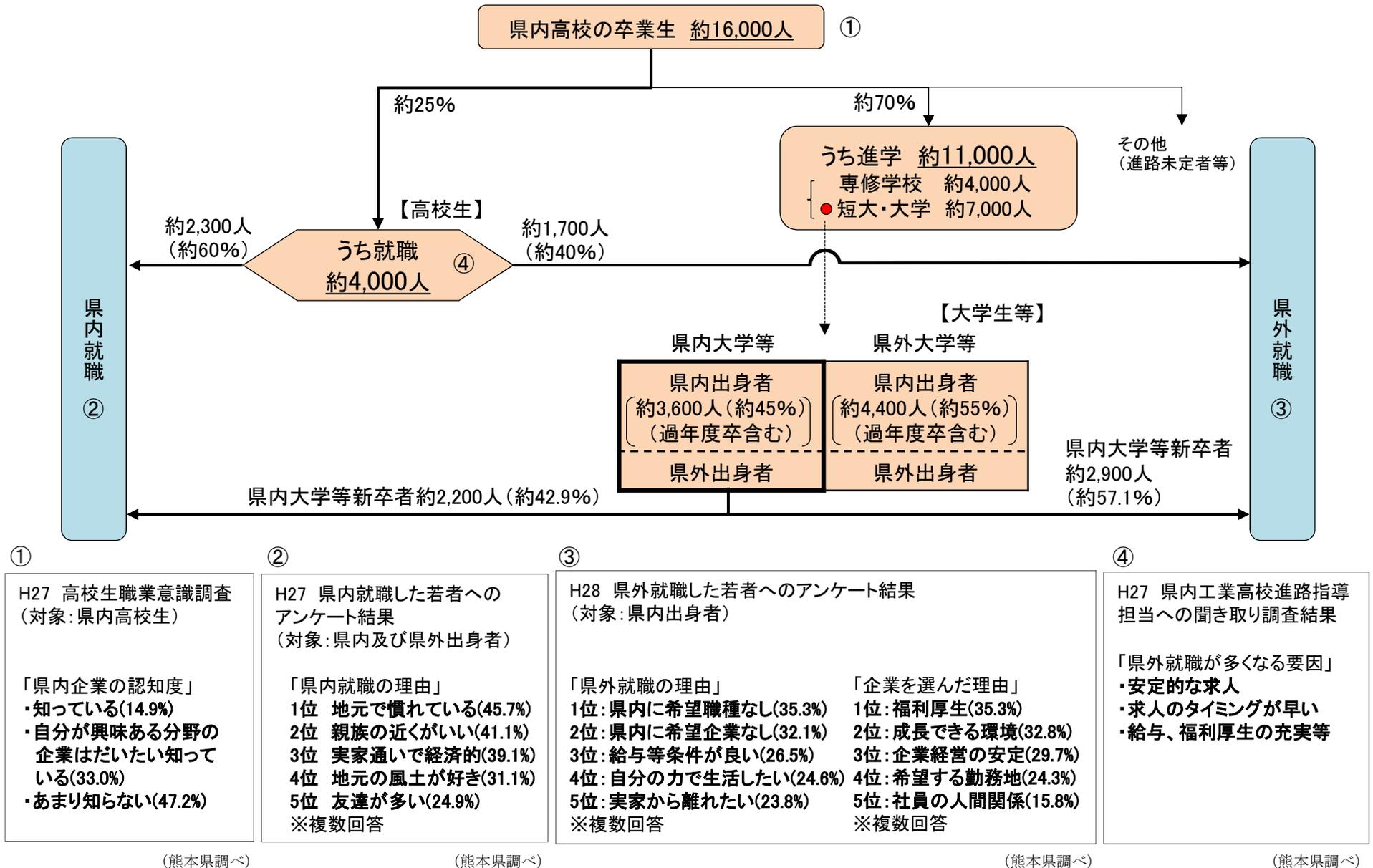
県内就職者45.4% > 全国就職者39.7%
 (参考) 大学: 県内就職者37.4% > 全国就職者31.5%

※H18.3卒からH25.3卒の8年間の平均

※県内企業には県内出身者、県外出身者の双方を含む

4 県内高校生等の進路状況等

(H28年度学校基本調査等より)



5 課題と取組状況等

《課題》

- ① 企業条件等
 - ・能力や適性に合致した職種
 - ・給与水準、福利厚生
 - ・企業経営の安定性
 - ・定着度(離職率)
 〈採用活動〉
 - ・求人時期
 - ・企業情報の提供(手段、情報量)
- ② 産業教育
 - ・産業界のニーズに対応した人材育成
 - ・熊本地震からの創造的復興を支える人材育成
 - ・郷土愛や地域を支える意識の醸成

【参考】

平成27年度総合教育会議における主な意見

- ・専門学校卒業後の就職先の情報が少ない
- ・中小企業は継続的な求人や情報発信の努力を
- ・子供が地域との関わりを持つことで、地元が選択肢に入るのではないか
- ・県内企業を紹介するコーディネーターの設置を
- ・工業高校の教育が成功したため、全国の企業から引き合いがある。県内企業にUターン就職する例もあるが、定着が難しい

《取組状況》

- ・就職に関する意識調査
- ・熊本の暮らしやすさの見える化

- ・生徒(保護者)、学校と県内企業との相互理解促進
- ～情報発信、交流事業～

- ・実践的な学習活動による専門的な知識・技術の習得
- ～情報化・技術革新等への対応～
- ・地域社会への貢献等

《主な成果》

- ・新規学卒者の県内就職率アップ推進事業
- ＝就職に関する調査、熊本の暮らしやすさ調査等(H27、H28年度)
- 暮らしやすさ等見える化(H27年度～)

- ・H27年度、H28年度PR冊子を26,000部作成
- 全ての県内高校、大学へ配布

- ・熊本県UIJ就職支援センター
- ＝熊本へのUIJターン就職希望者等の相談窓口(H28年度～)

- ・熊本県UIJ就職支援センターを熊本と東京に開所(H29.1.13)

- ・熊本県プライト企業推進事業
- ＝県内優良企業を認定し、若者の県内就職にも繋げる(H27年度～)

- ・プライト企業認定数：108社(H28年度末)
- 高校との意見交換会実施

- ・誘致企業と県内高校との意見交換会
- ＝企業誘致連絡協議会と県が企画し、高校生の地元就職を支援(H29年度～)

- ・誘致企業との意見交換会(H29.5.23)
- 30社の採用担当者らと39校の進路指導担当者ら計約150人が参加

- ・熊本しごとコーディネーター事業
- ＝公立工業高校に配置し、生徒の県内就職を支援(H28年度～)

- ・公立工業高校の県内就職率
- H28.3卒：28.9%(362人)
- H29.3卒：31.1%(379人)

- ・海外インターンシップ事業
- ＝将来の本県産業界の発展に寄与するグローバル人材の育成(H28年度～)

- ・県内企業の海外進出先でのインターンシップ(H28：アメリカ、H29：フィリピン)

- ・プロジェクト発表における研究活動やコンテスト及び競技大会等の取組推進
- ・インターンシップの充実
- ・くまもと未来への復興人材育成事業
- ＝専門高校生による被災地支援を通じた復興人材の育成(H29年度～)

- ・工業高校でジュニアマイスター顕彰制度認定者数4年連続日本一
- ・学校農業クラブ全国大会での最優秀賞の獲得

- ・専門高校と地域社会が連携した教育活動
- ・部活動としての郷土芸能への取組
- ・道徳教育用郷土資料「熊本の心」の活用

- ・球磨工業高校・南嶺高校による地元団体との和綿の栽培・製品づくり、八代東高校と地元菓子店とのイ草菓子共同開発等
- ・牛深高校の部活動「牛深ハイヤ」等

進路状況等の把握に努めるとともに、産業界・教育機関・行政機関とが連携した取組みを更に充実・強化する

県内産業を支える人材の育成と若者の地元定着に向けて